

国立保健医療科学院

防災・公衆衛生レジリエンス研究センターへの改組

厚生労働省大臣官房厚生科学課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

国立保健医療科学院

防災・公衆衛生レジリエンス研究センター

Center for Public Health Resilience (CPHR)

・ 所掌事務

国立保健医療科学院の所掌事務のうち、災害及び健康危機時における保健医療等に関する技術的支援及びこれに関連する評価に係るものをつかさどる

・ 研究業務規程

防災・公衆衛生レジリエンス研究センターは次に掲げる研究を行う

- (1) 災害及び健康危機をもたらす事象に関する対策の立案とその科学的評価に係るもの
- (2) 災害及び健康危機に関する国及び地方自治体の総合調整の手法に係るもの
- (3) 災害及び健康危機に関する人材育成に係るもの
- (4) 災害及び健康危機に関する公衆衛生活動の記録及び検証に係るもの
- (5) 前各号に掲げるもののほか、防災・公衆衛生レジリエンス研究センターの所掌事務に係るもの

国立保健医療科学院 防災・公衆衛生レジリエンス研究センター 運営方針概要（案）

○激甚化・頻発化する災害や巨大災害のリスクを見据えて、災害関連死を含む防ぎえた災害死・二次健康被害の最小化と、保健医療福祉体制の早期回復を目的として、①**災害・健康危機時の国や地方自治体に対する技術的支援とこれに資するエビデンスの整理・構築**、②**実践的な研修の開発・提供**、③**対応の記録・評価・検証と情報発信**を業務の軸として運営する。

<平時及び有事における主要業務の概要>

★ 新規業務、◎ 既存業務の拡充

業務	平時	有事	科学院で実施するメリット
① 災害・健康危機時の技術的支援とエビデンスの整理・構築	危機時の行政対応に関するエビデンスの整理・構築 <ul style="list-style-type: none"> エビデンスの構築・整理、ガイドラインの作成による体制整備、災害関連死を防ぐ避難所・避難生活、仮設住宅等に資する研究・開発など◎ 科学院の職員・施設の体制整備・事前準備・訓練の実施★ 厚労本省バックアップ施設としての体制構築★ <ul style="list-style-type: none"> 緊急避難・隔離施設としての寄宿舍の活用 厚労本省が機能不全となった場合に補完・代替できるよう、バックアップ機能（施設・通信環境等）を整備 	被災地派遣による技術的支援・アウトリーチ活動・遠隔支援★ <ul style="list-style-type: none"> 初動期～応急対策期：厚労省対策本部・現地対策本部、被災都道府県等の保健医療福祉調整本部等の総合調整支援（厚労本省併任などによる職員派遣） 応急対策期～復旧・復興期：避難所・在宅避難者等の生活環境・健康管理にかかる専門的支援、被災地での迅速調査の実施等のアウトリーチ活動、など 初動期～応急対策期：遠隔支援活動（主にインテリジェンス機能） 	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関として専門的知見を有しており、知見や経験の蓄積・更新を通じた適切な支援が可能 厚労本省・都道府県との平時からの関係構築により有事における円滑な支援が期待できる 国の機関であり、バックアップ施設としてセキュリティ上のリスクが小さい
② 実践的な研修の開発・提供	実践的かつ標準化された機能別・職能別研修の開発・提供◎ <ul style="list-style-type: none"> 機能別：本部マネジメント（総合調整）、インテリジェンス（情報収集・分析と意思決定支援等）、コミュニケーション、ロジスティクス、安全・健康管理、など 職能別：医師・歯科医師、保健師、管理栄養士、事務官など 	被災地派遣時等に求められる知識・スキルのタイムリーな提供★ <ul style="list-style-type: none"> 支援活動従事者向けの迅速（ジャストインタイム）研修*・教材の提供 <p>*緊急時等にすぐに使える知識・スキルを提供する研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規研修等についても、既存の養成訓練の技術・設備等を拡充することにより導入が可能
③ 対応の記録・評価・検証、情報発信	訓練・演習の評価、過去の災害の記録の整理と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 事後評価（アフターアクションレビュー）の手法・様式等の開発◎ 国・自治体の訓練・演習の科学的手法を用いた評価★ 過去の災害等に関する記録のアーカイビング★ 災害等に関する定期的な情報発信（H-CRISISの活用、ニュースレターの発行など）★ 	対応の事後評価等の実施・支援★ <ul style="list-style-type: none"> 初動期～応急対策期：活動の記録と早期評価・中間評価の実施 応急対策期～復旧・復興期：事後評価の実施・支援、改善計画の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関の立場であり、客観的な評価・検証が可能 国の機関であるため、災害・健康危機の記録や教訓のアーカイブの作成・管理を適切に担うことができる

有事（災害・健康危機）における活動（イメージ）

初動・緊急対策期

応急対策期

復旧・復興期

現地派遣
本部設置・運営支援

本部活動終了支援

①
技術的支援

ニーズ調査支援

中長期的な技術的支援

技術的支援（保健福祉活動・避難環境等）

遠隔支援（インテリジェンス業務）

②
研修提供

ジャストインタイム研修・教材提供

③
記録・
評価検証

保健医療福祉活動の記録

AAR・改善策の提案

EAR（必要に応じて）

IAR（必要に応じて）

健康アウトカム指標の調査
課題抽出と対策立案支援

（半年、1、2、3、5年などの節目での調査）

EAR, early action review; IAR, intra-action review; AAR, after action review.